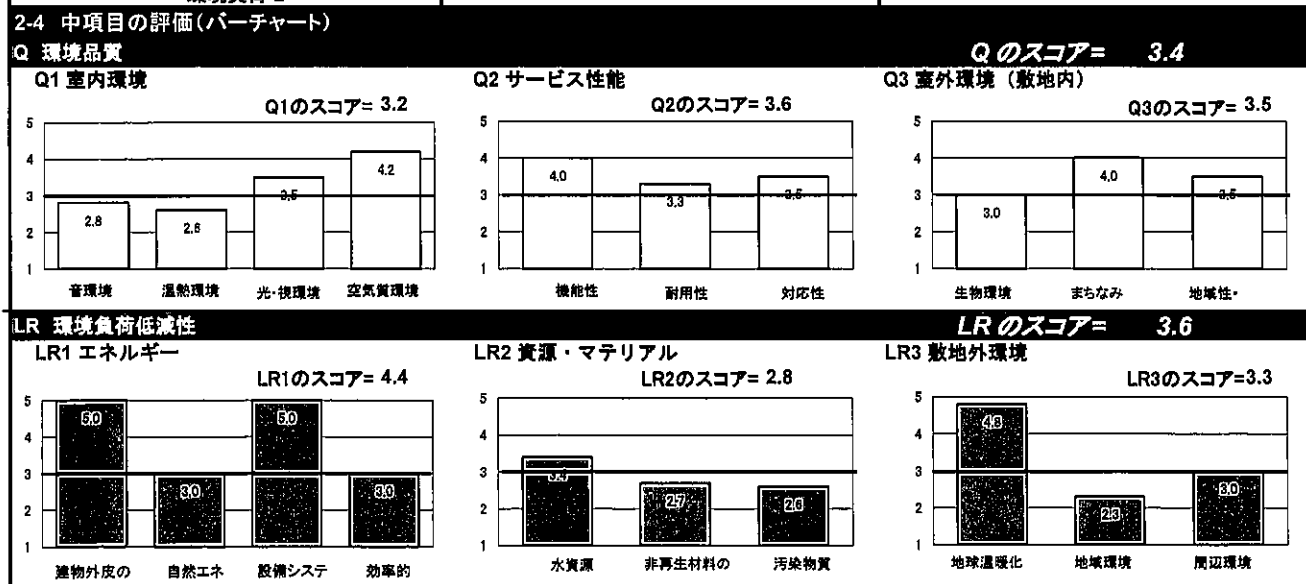
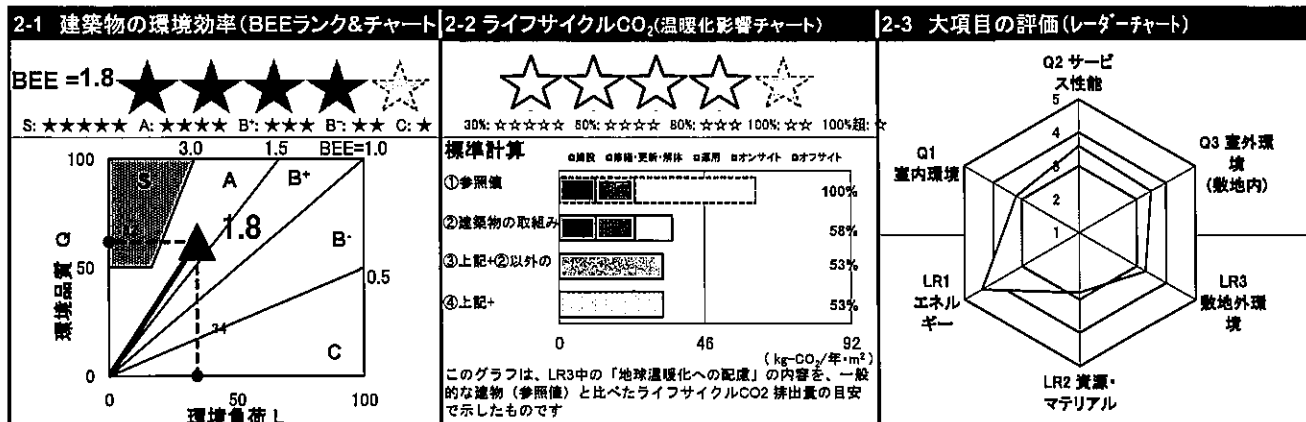


CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	同志社大学スポーツ・コンプレックス	階数	地上2F	
建設地	京都府京田辺市	構造	RC造	
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員	- 人	
地域区分		年間使用時間	- 時間/年(想定値)	
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2026年2月	評価の実施日	2024年11月7日	
敷地面積	524,781 m ²	作成者		
建築面積	3,139 m ²	確認日		
延床面積	3,253 m ²	確認者		



3 設計上の配慮事項			その他
総合			
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®-建築(新築) 2021年SDGs対応版

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_評価版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	同志社大学スポーツ・コンプレックス	階数	外観パース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください	
建設地	京都府京田辺市	構造		
用途地域	第一種中高層住居専用地域	平均居住人員		
地域区分		年間使用時間		
建物用途	学校	評価の段階		
竣工年	2026年2月 0.0	評価の実施日		
敷地面積	524,781 m ²	作成者		
建築面積	3,139 m ²	確認日		
延床面積	3,253 m ²	確認者		

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価結果(レーダーチャート)
BEE=1.8 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	30%: ★★★★★ 50%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★ 0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)	3(保健) 4(教育) 5(ジェンダー) 6(水・衛生) 7(エネルギー) 8(経済・雇用) 9(イノベーション) 11(都市) 12(生産・消費) 13(気候変動) 15(陸上資源) 17(実施手段) * SDG1,2,10,14,16は他のゴールに集約されています

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.2 音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境 Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.6 機能性 耐用性 対応性 Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 3.5 生物環境 まちなみ 地域性・	LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR1のスコア= 4.4 建物外皮の 自然エネルギー 設備システム 効率的 LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8 水資源 非再生材料の 汚染物質 LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.3 地球温暖化 地域環境 周辺環境	Q のスコア= 3.4 LR のスコア= 3.6

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される